

IV 次の世代の中心となって活躍する人が育つまち

1 環境教育の推進

環境目標4－1

市民・事業者・行政で、環境を意識した行動が広がっていること

★ 達成指標に対する本年度の状況 ★

指標項目	概要	2020 R2 (改定時)	2023 R5	2024 R6	2030 R12 (目標)
環境関連講座の実施※ 単位：講座	取組・結果等について 全公民館で環境関連講座を実施することができました。 今後の取組・対策等について 令和7年度から、公民館は市民センターと一体化となります。引き続き市民センター生涯学習事業において環境関連講座を実施し、環境教育の推進を図ります。	12	28	26	25
環境分野に関する体験学習会等への参加人数※ 単位：人	取組・結果等について 新型コロナウイルス感染予防策を行いつつ、 参加者を増やすことができました。 今後の取組・対策等について 引き続き体験学習会等を実施し、環境教育の推進を図ります。	2,666	4,521	4,602	6,000

※ 本市における実績値。

(1) 環境学習の機会の創出

① 教育文化センターにおける環境教育のための事業

学校教育現場における環境教育の実践のため、研修講座の実施や授業支援を行っています。

令和6年度は、新江ノ島水族館にて「新江ノ島水族館20周年と江の島の生きもの」をテーマに研修を実施しました。講義の中では、近代的水族館第1号として1954年にオープンした時の苦労や、モースとの関わりなどについてお話をありました。体験プログラムでは、「湘南体験ゾーン」で藤沢メダカ、波の実験装置などの展示を見学したり、イトマキヒトデ、マナマコ、ミズクラゲを実際に触ったり観察したりしながら、生態についてのお話を伺うことができ、充実した研修となりました。

② 藤沢の自然に関する刊行物の活用

『藤沢の自然』シリーズとして、市内の自然を子どもたちと教職員・市民に紹介する本を刊行してきました。平成6年発行の「身近な草・きのことの語らい」から平成27年発行の「藤沢の四季」まで8冊が刊行されています。過去に刊行した冊子は、各小・中・特別支援学校にそれぞれ45部ずつ配布するほか、必要に応じて貸出を行い、授業実践に役立てています。また、冊子の更なる効果的な利用を促進するため、教職員対象の研修講座にもテキストとして随時使用し、児童生徒並びに教職員への内容の理解と普及に努めています。また、藤沢の自然シリーズは有償刊行物として市民に提供しており、市内の自然観察会などでもテキストとして活用されています。

③ ビオトープ造成及び教育的運用推進への支援

各学校へのビオトープの設置、管理並びにその学習上の運用について、アドバイスを行っています。教育文化センター内に設置した池中心型ビオトープも管理し、説明などを行っています。

④ 各学校・団体との連携

各研修講座や藤沢市総合かがく展の開催を通して、湘南台文化センターこども館、新江ノ島水族館等、各団体との連携を継続して行っています。

⑤ 藤沢市総合かがく展

令和6年度55回目となった総合かがく展は、10月17日（木）～23日（水）の期間に、湘南台文化センターこども館を会場に開催しました。



【第55回藤沢市総合かがく展の様子】

⑥ 藤沢市美化・リサイクル推進ポスター

毎年、小・中学校の夏休みを利用して作品を募集し、優秀作品は表彰しています。

令和6年度応募実績 小学校32校 740点、中学校10校 61点



【最優秀賞受賞作品】

(左から小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学校の部)

⑦ こどもエコクラブ

こどもエコクラブは、将来を担う子供達の環境への意識を高めるため、地域の仲間と一緒に自分で環境に関する学習や体験ができるよう支援する事業で、平成7年度から環境省で始められた事業です。令和6年度、全国で2,385団体、およそ98,000人が登録しています。登録すると、全員に会員バッジ、ニュースなどが送られ、全国のクラブとの交流や優秀クラブへの表彰などが受けられます。

本市でも、地域の公民館や友達のグループ、学校の課外活動の仲間など、令和6年度は5団体、サポーター（指導者）を含めて371人が登録しています。

《令和6年度登録エコクラブ一覧》

片瀬少年少女探検隊（片瀬公民館 32人） ふじさわあーすまいる（藤沢保育園 120人）

くげぬまあそび隊（鵠沼公民館 34人） さわクラブ（家族登録 2人）

めいじスマイルエコクラブ（明治保育園 48人）



【こどもエコクラブ活動風景】

過去登録エコクラブ一覧

エコたまてばこ	下土棚、近所の友達 5人	マヨネー'S	立石、近所の友達 4人
どんぐり児童クラブ	片瀬、地域の児童クラブの友達 14人	湘南台ネイチャークラブ	湘南台小、委員会活動の仲間 25人
湘南キッズクラブ	鵠沼、近所の友達 6人	明治公民館子どもクラブ	明治公民館 21人
自然探検団	辻堂、近所の友達 3人	ちょめちょめクラブ	鵠沼海岸、近所の友達 4人
ホワイト	長後、近所の友達 4人	くげぬま遊び隊スーパーーリーダー	鵠沼公民館 23人
ポップコーンズ	立石、近所の友達 4人	ひまわり児童クラブ	湘南台、児童クラブ 78人
ハーブ	辻堂、近所の友達 3人	うさぎ児童クラブ	下土棚、児童クラブ 51人
みつばち児童クラブ	遠藤、児童クラブ 58人	サクラサクラブ	辻堂西海岸、近所の友達 7人
こだま(木靈)	長後、近所の友達 16人	藤沢市立大鋸小学校 4年生	大鋸、学校 122人
湘南エコ子	円行、近所の友達 6人	ジモタンクラブ	石川児童館 51人
たいよう児童クラブ	亀井野、児童クラブ 79人	B&G 江の島海洋クラブ	江の島、近所の友達 39人
お団子	羽鳥 家族 3人	みぐに幼稚園	鵠沼、幼稚園 120人
まめくすファミリー	羽鳥 家族 3人	大鋸児童館こどもエコクラブ	大鋸児童館 13人

⑧ 行政に携わる職員の環境意識の高揚を図るための研修

本市が一事業者として、環境保全や、エネルギー使用量及び温室効果ガスの削減等を率先して行うため、「藤沢市環境保全職員率先実行計画」を策定し、環境マネジメントシステム管理推進員を中心に本市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減や資源の有効活用などの取組を行っています（取組結果については、189-190 ページ参照）。

この計画における削減への取組を持続可能なものとするため、毎年、環境マネジメントシステム管理推進員を対象とした研修や、全職員を対象とした環境e ラーニングを行い、温室効果ガス排出量の削減に対する意識づけを図っています。

藤沢市環境保全職員率先実行計画



藤沢市

⑨ 石川丸山ホタル保存会

「石川丸山ホタル保存会」は、平成 20 年 4 月 1 日に施行された「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」に基づく、里地里山の保全、再生及び活用を実践する活動団体として、平成 20 年 5 月 6 日に結成されました。

この会は、ホタルに関する生態、増殖の研究、生息環境の保全及び水環境の浄化等を通じ、地域住民を中心に結成された「丸山谷戸援農クラブ」と連携を密にしつつ、里地里山の文化、自然保護活動に寄与することを目的として活動しています。

会の目的を達成するために、次の事業を行っています。

- ◇生態、自然増殖の研究及び調査
- ◇生息環境の保護対策及び環境調査
- ◇ホタル保護の啓発
- ◇自然と人とが共生できる環境づくり
- ◇その他目的達成に必要な活動



【秋の実り（左）と、農林地等里地里山の保全を目的とした体験教室（右）】

⑩ 学校が進める生物多様性に関する取組

各学校においては、「環境に関する教育」として、教科横断的に生物多様性に資する様々な取組が実践されています。例えば、小学校低学年では、生活科で「アサガオ」や「サツマイモ」などを育てる活動が、中学年では、理科の「季節の動植物」で、年間を通じて定点観察する活動などが行われています。高学年では、「メダカ」などを育てる中で、生命の誕生を学ぶことや、国語科の「自然環境を守るために」という単元において、どんな環境問題があるのか調べ、特に解決したいことは何かについて考えるなどの活動も行われています。中学校では、理科や道徳以外にも、部活動や委員会等で「植物を育てる」ことの必要性を考える機会をもつなど、生物の多様性に関する様々な取組を進めています。

⑪ 公民館

公民館では、市民の環境についての関心を高めることなどを目的として、各年度において、自然環境、リユース・リサイクル、エネルギーなどをテーマとして取り上げた各種講座等を実施しています。

公民館環境関連講座参加人数の推移

単位：人

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
公民館環境関連事業	297	492	646	1,085	1,079

※ 令和2年度、令和3年度の講座数・参加者数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

令和6年度 公民館環境関係事業一覧

単位：人

番号	事業名	対象名	具体的な内容	参加者数	公民館名
1	かんきょうえいが会 ～海のしげんについて考えよう！～	地区内の小学生・未就学児童と保護者	海の資源の大切さを感じることができるように映画を上映する。	200	藤沢
2	夏休み子ども講座④ 海洋プラスチックごみを使い、キーホルダーを作る。	小学生		29	藤沢

3	藤沢市を宇宙から見てみよう	市民一般	宇宙から見た藤沢市の映像など多くの映像資料を使って、わかりやすく地球温暖化や気候変動などを説明しながら、環境問題について個々が考えられる講座を実施する。	177	藤沢
4	日本のモン・サン・ミッセル 江の島のトンボロ歩き	成人	「トンボロ現象」の時に海面が低くなつて出現する海の道を歩く。また江の島の地層からわかる歴史について講義をしてもらい、江の島についての知識を深める。	18	村岡
5	親子体験教室 新林公園の自然を学ぼう！ホタルを見に行こう！	小学生と保護者	新林公園の自然について、四季折々の特徴や、公園施設の紹介をした後、新林公園にいるホタルの生態や、自然環境を守るための取組みなどについて講義。その後、新林公園に移動し、実際にホタルを観察する。	12	村岡
6	講義「海から見た地球」とミツロウラップづくり	小学生と保護者	気候変動と海洋プラスチックごみについて、環境活動家の武本匡弘氏の講義を聞き、一人一人が今できる取り組みについて考えるきっかけなどについて学んだ後、繰り返し使用できる「ミツロウラップ」づくりを体験する。	18	村岡
7	村岡自然探検隊～森づくりを体験しよう！～	小・中学生	みどり保全課職員を講師として招き、参加者と森づくり（落ち葉溜めやカントリーへッジづくり）を行う。	9	村岡
8	親子で磯探検！江の島で遊ぼう	小学生と保護者	親子で江の島の自然と歴史を探る。トンボロ歩きとタイドプール内の水生生物の観察を行う。	8	片瀬
9	片瀬少年少女探検隊	小学生	清水谷戸探検やビーチクリーンなどを行う。	11	片瀬
10	片瀬地区生活環境協議会共催事業「SDGs ボードゲームで学ぼう！」	市民一般	神奈川県版の SDGs ボードゲームを通して環境問題を楽しく学び、後半は環境問題の映像を流しながらのコンサートを開催する。	34	片瀬
11	SDGs 講座「エコ活動は環境に優しいのか？－環境問題におけるトレードオフを考える－」	市民一般	研究者の話を聞いて様々な側面からエコ活動について知り、生活への取り入れ方を考える講演会を実施する。	25	明治
12	青葉の中のバードウォッチング	市民一般	日本野鳥の会の講師のもと、御所見公民館から出発して、用田寒川社および目久尻川周辺を探索しながら野鳥の観察、草花などの生態を学ぶ。	23	御所見
13	冬に楽しむバードウォッチング	市民一般	日本野鳥の会の講師の指導で、御所見公民館を出発し、用田寒川社および目久尻川周辺を歩き、野鳥の見分け方、聞き分け方を学びながら観察するとともに、草花などの生態を学ぶ。	23	御所見
14	御所見地区生活環境協議会共催事業 ゴミ拾い体験ゲーム	市民一般	環境事業センター職員の指導のもと、実際のゴミ拾いをゲームとして体験してもらい、分別の仕方や、環境について親子で学ぶ。	12	御所見
15	親子講座～遠藤親子 DEスクール①～（自然観察会）	小学生と保護者	遠藤笛窪谷公園の生物多様性を支える豊かな自然を散策し、谷戸地区の植物、野鳥、昆虫を観察する。	13	遠藤

16	さつまいも！作って！収穫体験！	小学生と保護者	畑のうねづくり、苗植え、草むしり、収穫、さつまいもを使った調理や交流会も行う。	32	遠藤 湘南大庭
17	夏休み子ども教室～体験学習バスツアー	小学生	“防災や水の大切さを学ぶ”ために「そなエリア東京」と「水の科学館」で体験学習を行う。	16	遠藤
18	歩こう！遠藤②～自然探勝・小出川彼岸花コース	成人	ウォーキングを通してお寺や公園、彼岸花の咲く小出川を見学し、遠藤地区の自然や新たな魅力を発見する。	11	遠藤
19	歩こう！遠藤③～自然探勝・北部コース～	成人	ウォーキングを通して遠藤地区北部の公園や神社を見学し、遠藤地区の自然や新たな魅力を発見する。	11	遠藤
20	ファミリーアドベンチャーpart2（八ヶ岳であそぼう！）	小学生と保護者	川遊び・工作・レクリエーション・昆虫ハンター・たき火・ハイキングを実施する。	36	長後
21	子ども公民館～夏の陣～ふんわりおもしろシャボン玉	小学生	せっけんと合成洗剤の違いを学び、環境に優しいせっけんを使ってシャボン玉液を作り、身近にある材料でシャボン玉を飛ばす。	19	辻堂
22	野鳥・樹木講座	市民一般	野鳥の季節・地域ごとの生態特性や野鳥を観察するときの視点などについて学んだ後、実際にみその森で自然観察を行う。	29	善行
23	1日限定！ 「ぜんぎょう 夜Café」	成人	コナ・コーヒーの歴史やコーヒーの栽培にまつわるSDGsへの理解を深める。また生豆の焙煎体験とその試飲を行う。	15	善行
24	環境講座「地区内の自然を観察をしよう」	市民一般	双眼鏡の使い方のレクチャーを受け、普段中に入れない裏門公園内を観察する。親水公園に移動中、講師の説明を受けながら各場所で野鳥を観察する。	18	湘南大庭
25	夏休み子ども教室⑤ 「アロマサシェづくり」	小学生	廃棄花の現状や課題と、限られた資源を繰り返し使うことの大切さについて講師より話を聞いた後、廃棄花のドライフラワーを使いアロマサシェを作る。	20	湘南台
26	海洋科学教室	小学生	新江ノ島水族館にて多様なプログラムによる体験学習を実施する。	260 (13館)	13 公民館
合計 参加者数				1,079	

⑪ 環境学習による青少年の健全育成

各公民館では、環境について関心を高めてもらうことを目的とした環境学習の講座を実施とともに、豊かな自然を体験する活動を通して青少年の健全育成も図っています（具体的な講座・内容は、160-162 ページ「⑪ 公民館」の表「公民館環境関係事業一覧」参照）。

⑬ ごみ体験学習会の実施

毎年、市内の小学校や保育園等に塵芥収集車で出向き、小学4年生を対象にする「ごみ体験学習会」、保育園児・幼稚園児を対象にする「キッズごみ体験学習」を開催しています。保護者も参加して、ごみ分別、減量・資源化の体験学習を行っています。



【ごみ体験学習会】

ごみ体験学習会の開催実績

年度		令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
小学校	開催数 (回)	25	33	36	35	36
	参加人数 (人)	2,666	3,642	3,974	3,824	3,899
保育園等	開催数 (回)	—	—	22	25	26
	参加人数 (人)	—	—	641	697	703

※ 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校については希望制とし、保育園等については中止。

令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保育園等については中止。

令和4年度については、小学校に特別支援学校1校を含む。

⑭ ごみゼロゲーム体験学習

ふじさわ環境フェアなどのイベント時や出張学習として、ごみゼロゲーム体験学習を行っています。日常生活の中で出てくる、そのままではごみになってしまうものを“救う方法”を考えるボードゲームを使用し、廃棄物がゼロ、つまりごみゼロの社会を作ることは難しいことですが、ごみを減らす方法を簡素化して学ぶことができます。



【出張学習でのごみゼロゲーム体験学習会】

⑮ 学校における環境教育・環境学習

環境問題については、地球温暖化の防止、循環型社会の形成、自然環境の保全・再生など課題が山積しています。現在、学習指導要領の中で、持続可能な社会の担い手を育てる教育として、明記されており、環境教育も包括されています。また、神奈川県でも学校教育を通じて環境・エネルギー等の理解を深め、「自らが考え、行動する人」の育成を目指しています。

小中学校的教科書の中には、SDGsの内容も多く取り入れられています。

本市の小・中・特別支援学校では、環境教育・環境学習の目的やねらいに沿って、体験を重視し、身近な環境や地域に目を向ける環境学習を各教科等で展開しています。

今後も SDGs の視点及び持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力の育成など、より広い視野から環境教育の推進が図られるよう、啓発活動等に取り組んでいきます。

令和6年度 「環境学習」の主な取組

校種	取組項目
小学校	ごみの分別・減量化、節電、省エネ、ペットボトルキャップの収集、花だん作り、緑のカーテン、米作り、農家見学、リデュース・リユース・リサイクル学習、ごみゼロゲーム、ごみ拾い、ロードパッカー車教室、環境事業所・浄水場見学、下水道教室、モビリティ・マネジメント教育、ドングリ・落ち葉拾い、校内の緑化活動、草花・野菜の栽培、メダカ・昆虫の飼育観察、磯の観察体験、ごみ問題の発表会、地産地消プロジェクト、卒業式の花を育てよう、マイクロプラスチック拾い、ビーチクリーン、水源地を学ぶ学習 等
中学校	ごみの分別・減量化、節電、緑のカーテン、ペットボトルキャップの収集、八ヶ岳野外体験教室、SDGsに取り組んでいる職場にインタビュー、コーヒー豆から考える、校内緑化活動、学級園芸活動、環境フェア、水不足について、環境（SDGs）発表会 等
特別支援学校	ごみの分別、草花・野菜の栽培、ペットボトルキャップで作品を作る 等

令和6年度の取組については、ごみの分別・減量化、節電等、日常的に環境に配慮する取組は多くの学校で行われており、教科書でも掲載されているSDGsに関しての取組も増えています。

取組の形態としては、総合的な学習の時間を柱として、小学校では花だん作りや野菜作り、米作りといった生活・理科・社会科等の発展学習として学年で扱う実践、中学校では生徒会活動や総合的な学習の時間等の授業の中で扱う実践などが多くありました。そのほかにも、小学校の総合的な学習の時間に講師を招き、ビーチクリーンを行ったり、小・中・特別支援学校において委員会が中心となり、全校に呼びかけて取り組んだりする例もありました。

令和6年度は各学校においてSDGsを意識した学習の取組が着実に増えてきたところからも、これまでの取組が定着し、継続して行われてきている様子がわかります。

⑯ 研修講座

令和6年度は、教職員（一部の講座は一般も対象）向けに39講座実施し、延べ2,000人強の参加がありました。その中で、環境教育に関わる学習実践を行うため、教職員を対象とした研修講座も実施しています。今後、これらの研修の一部は市民へも開放し、広く環境への意識を高められるように努めています。

⑰ ごみ処理施設などの見学

ごみの減量に対する意識の向上を図るため、ごみ処理施設の見学の受入れや講座の開催等を行っています。

ア 「リサイクルプラザ藤沢」（環境啓発施設）の運営

平成26年4月から、廃棄物の発生抑制、減量・資源化等の意識啓発を目的とした「リサイクルプラザ」（環境啓発施設）の運営を開始しました。小学4年生を対象とした施設見学の受入れやリサイクル体験教室、講座等の開催により、



【リサイクル体験教室】

広く環境について学習する場や機会を提供しています。

環境啓発施設の運営実績 単位：人

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
小学校見学者数	97	52	2,080	2,103	2,262
体験教室参加者数	198	49	40	123	77

※ 令和2年度、令和3年度の小学校見学者数・体験教室参加者数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

イ 石名坂環境事業所の施設見学

令和6年度から施設整備を開始したため、施設見学は全て北部環境事業所で行っています。

令和5年度までは小学4年生の社会科学習を中心に施設見学を行っていました。

石名坂環境事業所の施設見学受入実績 単位：人

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
小学校見学者数	46	0	376	232
上記以外の数	0	28	33	29

※ 令和2年度～令和4年度の見学者数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。令和5年度は、見学が北部環境事業所主体となったため減少。

(2) 環境情報の提供・共有化

① 『ふじさわ教育』での情報発信

藤沢市教育文化センターでは、市内教職員向け情報誌『ふじさわ教育』(年1回発行) やホームページ等を通じて、市内の自然について情報発信を行っています（詳細は119ページ）。

② 環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」による環境情報の提供・環境保全活動の啓発

平成21年度に開設した環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」では、市民、環境団体等の活動紹介や環境イベントの実施状況等を掲載しています。

ふじさわエコ日和のページビュー(PV) 総数 単位：件

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
PV数	73,370	75,995	65,358	83,938	101,771

※ 「ふじさわエコ日和」は平成30年6月にリサイクルプラザ藤沢のHPを統合し、リニューアルした。

ア 「エコライフチェック」

誰もが日々の生活の中でエコの取組を進められるよう「エコライフチェック」を掲載し、市民の自発的な温暖化対策の取組を促進しています。

エコライフチェックのアクセス件数 単位：件

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
アクセス件数	768	734	486	294	315

※ アクセス件数は「家庭編」と「事業所編」の合計。



※「ふじさわエコ日和」、「エコライフチェック」は令和3年度にリニューアルした。
【「ふじさわエコ日和」及び「エコライフチェック」トップ画面】

イ 環境クリック募金

環境クリック募金では、協賛企業からワンクリックにつき5円をいただき、環境教育のための教材を購入しています。

環境クリック募金参加状況

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
参加企業数（社）	10	9	9	11	11
クリック数（回）	448,024	441,928	404,460	407,230	457,000
募金額（円）	900,000	900,000	900,000	1,030,000	1,100,000

※ 令和2年度は、年度途中に1企業が解約したため、募金は9企業からのもの。

令和5年度は、7月から1企業、12月から1企業協賛。

2 各主体による環境保全・環境美化

環境目標4-2

市民・事業者・行政が協力して、さまざまな環境保全・環境美化が展開されていること

★ 達成指標に対する本年度の状況 ★

指標項目	概要	2020 R2 (改定時)	2023 R5	2024 R6	2030 R12 (目標)
環境美化活動への参加人数※1 単位：人	取組・結果等について 環境美化活動への参加人数は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたキャンペーン活動等が再開されたこともあり、2021年度（令和3年度）57,114人から大幅に増加しています。 今後の取組・対策等について 今後も啓発活動を推進し、環境美化活動への意識醸成を図ります。	—※2	100,603	111,034	140,000

※1 本市における実績値。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、環境美化活動を中止。2019年度（令和元年度）の実績は134,425人。

(1) 環境保全活動の推進

① 市民活動団体への支援

環境保全活動を展開している市民団体等に対して、次のような活動支援策を行いました。

- ・事業への後援及び補助
- ・会場及び資料等の提供
- ・テーマに応じた講師、説明者の派遣
- ・優良活動市民、団体の表彰
- ・団体間の情報交換、ネットワークの場づくり

② 各種事業者団体との連携

藤沢商工会議所、藤沢市商店会連合会、藤沢地区廃棄物対策協議会、藤沢市企業等環境緑化推進協議会などの事業者団体と連携し、環境保全の推進についての講習や意見交換等を実施しています。

③ 環境啓発パンフレット等による環境情報の提供

ア 『ごみ NEWS』(環境総務課)

本市のごみの処理、ごみの減量・資源化等に関する情報を掲載し、年1回発行しています（詳細は152ページ）。

イ 「環境インフォメーション」(環境保全課)

大気や水質などの測定結果や生活環境に関する情報等を掲載し、年1回発行しています。

環境インフォメーション NO.103

2024年(令和6年)9月発行

調査インフォメーション No.103

海水浴場水質調査

藤沢市では、安心して海水浴を楽しめるように、毎年5月と7月に海水浴場の水質調査を実施しています。

調査地点は、片瀬東浜（2地点）、片瀬西浜・鶴沼（3地点）及び辻堂（1地点）です。調査では、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、化学的酸素要求量（COD）、透明度、網濾出出血性大腸菌 O157 の有無などを調べます。

その結果から判定基準により海水浴場を、【適】・【可】・【不可】に判定しています。

片瀬東浜沖での採水作業の様子（2024年5月）

調査結果（2021～2024年度）

年度	片瀬東浜	片瀬西浜・鶴沼	辻堂
2024年度	適(A) 可(B)	適(A) 可(B)	可(B) 適(A)
2023年度	可(B)	可(B)	可(B) 可(B)
2022年度	適(AA) 可(B)	適(AA) 可(B)	可(B) 適(AA)
2021年度	適(AA) 可(B)	適(A) 可(B)	可(B) 適(AA)

判定基準（環境省の定める水浴場判定基準による）

区分	項目	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質AA	不検出 (検出下限2個/100mL)	油膜が認められない	2mg/L以下	全透 (1m以上)
	水質A	100個/100mL以下			
可	水質B	400個/100mL以下	常時は油膜が認められない	5mg/L以下	1m未満 ~50cm以上
	水質C	1,000個/100mL以下		8mg/L以下	
不適	1,000個/100mLを超えるもの	常時は油膜が認められる	8mg/L超	50cm未満	

用語説明

- ・**ふん便性大腸菌群数**
哺乳類、鳥類のふん便中に含まれる大腸菌群の数をいいます。これは、魚、植物、土壌中にほとんど含まれないため、ふん便汚染の指標の一つとして利用されています。
- ・**化学的酸素要求量（COD）**
水中に含まれる有機物の量を酸素の消費量としてあらわしたもので、水質汚濁の程度を示す代表的な指標です。
- ・**透明度**
透明度板を静かに水中に沈めて見えなくなる深さと、ゆっくり引き上げていって見え始めた深さを反復して確かめて平均し、測定結果をメートル(m)で表示します。

藤沢市役所 環境保全課
電話 0466-50-3519 FAX 0466-50-8418
メールアドレス：fj-khozen@city.fujisawa.lg.jp
ホームページ：<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/khozen/>

【環境インフォメーション】

ウ その他刊行物（各課）

『清掃事業の概要』や『藤沢の環境』等では、各事業の概要及び実績等を掲載し、毎年1回発行しています。また、公害苦情相談における市民からの要望で、自治会、町内会等を通じて、「薪ストーブ」、「バーベキュー」等に関する周知啓発のチラシの回覧等を行いました。

(2) 環境美化活動の推進

① 生活環境団体の育成

きれいいで住みよい環境づくりを目指す藤沢市生活環境連絡協議会及び各地区生活環境協議会に補助金を交付し、自主的な地区組織の育成を図り、清潔で住みよい環境づくりを推進するため、各種事業を行っています。

毎年、本市と共に市民大会を開催しており、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりましたが、令和6年度は市内各地区にて生活環境の向上及び改善に貢献した個人及び団体への表彰や、市内公立小中学校から募集した「藤沢市美化・リサイクル推進ポスター」入選者の表彰などを行いました。



【美化・リサイクル推進ポスター入選作品】

② 「藤沢市きれいいで住みよい環境づくり条例」

環境美化の推進及び迷惑行為の防止を図るため、平成19年7月20日に「藤沢市きれいいで住みよい環境づくり条例」を施行しました。条例では、市民・事業者等の責務を定めたほか、5つの迷惑行為（ポイ捨て・路上喫煙（禁止区域内）・ふんの放置・深夜花火・落書き）を禁止行為とし、罰則を設けています。

また、路上喫煙禁止区域として、藤沢駅周辺（平成19年12月1日指定）、湘南台駅周辺（平成21年4月20日指定）、辻堂駅周辺（北口：平成23年12月1日、南口・西口：平成25年12月1日指定）を順次指定しました。平成29年2月1日から以下の区間内の駅周辺についても指定し、市内の全駅周辺を路上喫煙禁止区域としました。

◇路上喫煙禁止区域

- ・ 小田急江ノ島線：長後駅～片瀬江ノ島駅
- ・ 湘南モノレール：湘南江の島駅・目白山下駅
- ・ 江ノ島電鉄：藤沢駅～江ノ島駅
- ・ JR 東海道線：辻堂駅・藤沢駅

違反者には、指導→勧告→命令の手続きを行い、命令に従わない場合には、以下の罰則を適用します。

「きれいいで住みよい環境づくり条例」禁止事項

項目	勧告	命令	罰則（罰金）	令和6年度指導件数※1
路上喫煙禁止区域内での喫煙	対象	対象	2万円以下	1,839件
たばこの吸い殻や空き缶等の投棄等	対象	対象	2万円以下	
飼い犬等のふんの放置等	対象	対象	2万円以下	
落書き※2	—	対象	5万円以下	
静穏を害する深夜花火	対象	対象	罰則なし	224件

※1 令和6年度勧告及び命令件数は0件。

※2 落書きについては、勧告なく、直ちに命令となる。

以上のような条例で禁止される行為を未然に防止するため、路上喫煙禁止区域内での巡回指導や

喫煙所の管理、海岸での深夜花火の巡回指導（夏期）などを実施しています。

また、落書き対策については、落書き防止ステッカーによる予防活動、パトロールや地域団体等との協働による落書き消去活動等を行っています。

落書き消去活動の実施結果

年度	消去件数	消去活動参加人数
令和 2 年	211	—
令和 3 年	142	—
令和 4 年	443	—
令和 5 年	299	25
令和 6 年	215	35

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和 2 年度～令和 4 年度は未実施。



【落書き消去の様子】

③ 広場・道路の清掃

きれいで住み良い環境を維持するため、駅前広場及び基幹道路等の清掃を、人力と機械にて実施しています。

・駅前広場清掃	藤沢駅・辻堂駅・湘南台駅 善行駅・六会日大前駅・長後駅	毎日（元日を除く）清掃 月 15 日清掃
・道路機械清掃（ロードスイーパー）		指定道路 79 路線　月 1 回清掃
・歩道人力清掃		指定道路 79 路線　月 1 回清掃
・地下歩道・歩道橋・トンネル歩道等	10 カ所	月 1～3 回清掃

④ 公衆便所管理

公衆便所の清掃を委託により実施し維持管理に努めています。

公衆便所数	13 カ所
清掃状況	湘南ライフタウン、竜野ヶ岡公衆便所、くずはら里山広場　1 日 1 回
	藤沢駅北口公衆便所　1 日 3 回
	そのほかの公衆便所　1 日 2 回

※ 片瀬東浜と片瀬江の島の 2 カ所の公衆便所について、夏の海水浴シーズンの 7 月中旬から 8 月下旬まで、作業員が重点的に清掃をしています。

⑤ 不法投棄の処理と対策

不法投棄はあとを絶たず、環境衛生上の大きな問題となっています。これに対して県との合同もしくは本市独自によるパトロールを実施するとともに、土地所有者との共同により不法投棄防止看板を設置しています。平成 19 年度からは不法投棄監視カメラを設置しました。また、平成 27 年度から不法投棄防止カメラの自治会等への貸出も実施しています。

不法投棄ごみ収集処理量

単位 : kg

年度	不法投棄 処理件数	内 訳		計	1回当たり 平均収集量	月平均の 収集回数 (回)
		可燃ごみ	不燃ごみ			
令和 2 年	193	25	12,285	12,310	64	16
令和 3 年	155	150	8,880	9,030	58	13
令和 4 年	104	0	7,230	7,230	70	9
令和 5 年	113	0	3,780	3,780	33	9
令和 6 年	104	10	3,230	3,240	31	9

⑥ ボランティア清掃活動等の推進

一日清掃デー、地区内道路等のボランティア清掃などを通じて、市民・事業者・行政が一体となり地域活動及び啓発活動を推進し、環境・美化の意識を高めるよう努めています。

ア 一日清掃デー（令和 2 年度、令和 3 年度は中止）

«令和 6 年度» 参加者 12,548 人
 ごみ収集量 18,250 kg (可燃ごみ 15,720 kg 不燃ごみ 2,530 kg)

年 度	参加人数 (人)	ごみ収集量 (kg)
令和 2 年	—	—
令和 3 年	—	—
令和 4 年	13,267	15,890
令和 5 年	12,703	19,140
令和 6 年	12,548	18,250

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和 2 年度、令和 3 年度は中止。

イ 地区内道路等のボランティア清掃

«令和 6 年度» 参加団体 1,105 団体 (延べ 94,147 人)
 ごみ収集量 257,170kg

年 度	参加団体	ごみ収集量 (kg)
令和 2 年	1,010	218,330
令和 3 年	1,051	228,170
令和 4 年	1,097	268,570
令和 5 年	1,140	259,790
令和 6 年	1,105	257,170

ウ 不法投棄・ポイ捨て防止イベント

平成 27 年度から、環境美化と不法投棄・ポイ捨て防止や健康増進も兼ねて、ウォーキングをしつつ市民や団体等と連携し、ポイ捨てごみ等を清掃する取組を行っています。

《令和 6 年度》

参加団体 5 団体

参加人数 100 人



【第 10 回 藤沢七福神めぐりクリーンウォーキング】

⑦ 海岸の保全

相模湾の自然環境の保全と利用環境の創造を図り、海岸清掃を一元化するため、県・関係市町・企業の出捐金により平成 3 年 4 月 1 日に（公財）かながわ海岸美化財団が設立されました。

同財団は機械及び人力で相模湾沿岸の海岸の清掃を定期的に実施しています。



【ビーチクリーナー】

令和 6 年度 （公財）かながわ海岸美化財団による各海岸清掃状況 単位：日

海岸 項目	江の島（西浦）	片瀬東浜	片瀬西浜	鵠沼海岸～ 辻堂海岸	河川河口部
人力清掃 (通常) *	64	112	127	98	110
人力清掃 (夏期増員) *	0	59	60	0	0
機械清掃 (ビーチクリーナー)	0	181	167	67	0
機械清掃 (バックホウ)	0	6	4	0	0

* 通常清掃は 3 人（鵠沼海岸～辻堂海岸のみ 4 人）、夏期（7, 8 月）増員は 9 人での対応となっている。

⑧ 海岸美化清掃

ア 海岸清掃

江の島・片瀬海岸・鵠沼海岸・辻堂海岸の清掃を、神奈川県と本市がその経費を負担し、(公財)かながわ海岸美化財団が実施しています。

海岸清掃の実施結果

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
負担金（千円）	33,437	33,921	34,147	34,713	35,924
ごみ収集量（kg）					
可燃ごみ	367,880	492,570	232,670	291,240	425,610
不燃ごみ	50,450	58,340	43,690	53,050	49,490
海藻	30,200	24,000	1,560	91,600	104,400
合計	448,530	574,910	277,920	435,890	579,500

イ ゴミゼロクリーンキャンペーン

海岸美化の一環として、環境週間に合わせて地域自治会等の参加による、本市主催のクリーンキャンペーンを実施しています。



【ゴミゼロクリーンキャンペーン】

ゴミゼロクリーンキャンペーンの実施結果

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
参加団体数	—	—	66	77	79
参加人数（人）	—	—	3,897	4,230	4,160
ごみ収集量（kg）	—	—	850	810	780

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度、令和3年度は中止。

ウ 河川ごみの流出抑制

河川ごみの海岸への流出を抑えるために、境川（管理者は神奈川県）の除塵機を維持管理しています。

河川ごみ収集量 単位：kg

年度	境川	
	可燃ごみ	不燃ごみ
令和2年	770	700
令和3年	440	360
令和4年	540	400
令和5年	470	320
令和6年	630	250



【境川の除塵機】

エ 観光客への啓発

海水浴を中心とする観光客に対する美化啓発を図るため、海の日街頭美化キャンペーンを実施し、ごみ袋やウェットティッシュなどの啓発グッズを配布しています。

⑨ 衛生害虫等の駆除

ア ユスリカ

ユスリカの発生が多い白旗川・小糸川・不動川・一色川へ4月～10月に残留性がない昆虫成長制御剤を散布して、駆除に努めています。

イ ハエ

(株)藤沢市興業公社に委託してし尿汲み取り便所に無償で防疫薬剤（ピリプロキシフェン 6 g）を発生期に原則3回程度投入し、衛生害虫の駆除に努めています。

《令和6年度》 対象世帯 502世帯
実施回数 1,504回

ウ スズメバチ

スズメバチからの危害を防止するため、専門業者に委託して巣の撤去を行いました（令和6年度をもって本事業は終了しました）。



【スズメバチの巣の撤去風景】

相談等受付数と撤去件数の推移 単位：件

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
相談等受付件数	682	975	1,092	868	693
撤去件数	246	511	464	354	387